

会員より ～ グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します ～

■ 自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価（J-ADRES）

吉田丈人（総合地球環境学研究所・東京大学総合文化研究科）【企画・広報部会 幹事】

総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクトは、「災害からの安全度」と「自然の恵みの豊かさ」の視点をもとに、日本各地の土地利用の状況を総合的に評価した結果を公表しました。

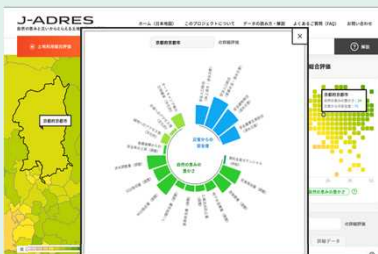
● 日本各地における自然の恵みと災いの状況は？



土地利用総合評価

- 災害に強くしなやかで自然の豊かさを楽しむ地域社会を実現するため、土地利用のあり方を検討するための情報を提供します。今回は、自然がもたらす恵みと災いの状況を、2010年頃の土地利用の視点から評価しました。
- 今後は、対象とする災害の種類を広げるとともに、将来の土地利用を検討するシナリオ分析の結果を追加する予定です。

● 「災害からの安全度」と「自然の恵みの豊かさ」の詳細評価



自治体ごとの詳細評価

- 災害からの安全度：災害（今回は洪水による浸水）による潜在的な人的および社会経済的リスクに対する安全度で、災害ハザードに曝されていない人々や財産などの割合を評価しています。
- 自然の恵みの豊かさ：生態系と生物多様性を基盤とする多様な自然の恵み（生態系サービス）を、供給・調整・文化的サービスの14指標に基づいて評価しています。

詳細はこちらから ▶▶▶ [「J-ADRES（自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価）」](https://j-adres.chikyuu.ac.jp)
(<https://j-adres.chikyuu.ac.jp>)

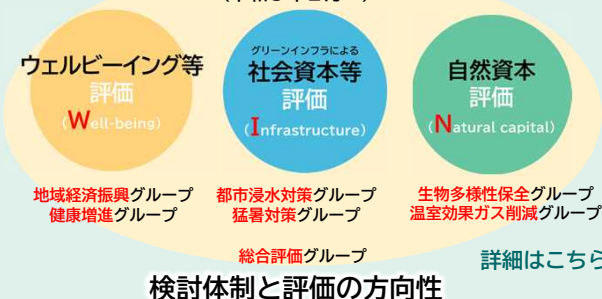
■ グリーンインフラ評価の考え方とその評価例（令和3年度中間報告書）の公表

中村 圭吾（公益財団法人 リバーフロント研究所 主席研究員）【技術部会 部会長】

グリーンインフラ官民連携プラットフォームの技術部会では、グリーンインフラの多様な機能を適切に評価する手法の検討を進めてきました。これまでの検討概要を「グリーンインフラ評価の考え方とその評価例（令和3年度中間報告書）」として公表し、多くの方々からのご意見を募集しています。

● グリーンインフラ評価の方向性

グリーンインフラ機能の評価手法の整備に関するワーキンググループ
(令和3年2月～)



- グリーンインフラは、自然の働きによる社会資本等の効果の拡充、自然環境の保全又は拡充、暮らしの豊かさなどへの波及が期待されます。
- 報告書では、この3つの効果のうち代表的な6つの機能を選定し、評価の考え方とその評価例を整理しました。
- 掲載された全29項目の評価手法毎に、評価手法の目的・定義・算出方法、評価事例などを示しています。

詳細はこちらから ▶▶▶ [「グリーンインフラ評価の考え方とその評価例（令和3年度中間報告）」](https://green-infra-pdf.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/Rep-hyoka.pdf)
(<https://green-infra-pdf.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/Rep-hyoka.pdf>)

● 評価の考え方や評価例に対するご意見を募集しています（令和4年7月15日（金）迄）

詳細はこちらから ▶▶▶ [「意見募集：グリーンインフラ評価の考え方とその評価例」](https://gi-platform.com/project/#opinions) (<https://gi-platform.com/project/#opinions>)

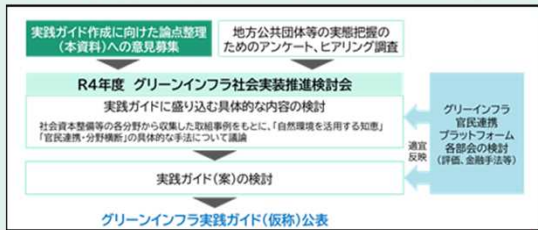
資料の解説動画を公開しています(7月末迄)

詳細はこちらから ▶▶▶ [「グリーンインフラの評価手法～令和3年度技術部会中間報告書の解説～」](https://www.youtube.com/watch?v=nCk33042d_s)
(https://www.youtube.com/watch?v=nCk33042d_s)

国土交通省総合政策局環境政策課より

■ グリーンインフラ実践ガイドの作成に向けて皆様の意見を募集しています

- 国土交通省では、地方公共団体をはじめ、地域の多様な主体がグリーンインフラの取組を地域で実践するためのポイントなどを、事例を交えて分かりやすく整理する実践ガイドの作成を進めています。
- 「グリーンインフラ社会実装推進検討会」を設置し、有識者のご意見をいただきながら検討を進めてきましたが、これまでの検討成果を「論点整理」として公表し、多くの方々から掲載内容に関するご意見や関連する事例提供をいただくことで、内容の充実を図っていきたく考えています。



検討体制及び検討の流れ

【意見募集概要】

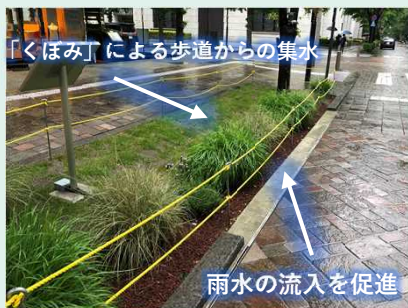
意見募集の内容：・盛り込むべき内容について
・取組事例

意見募集の期間：令和4年7月8日（金）

詳細はこちらから ▶▶▶ 「意見募集：グリーンインフラ評価の考え方とその評価例」
(<https://gi-platform.com/project/#opinions>)

■ 丸の内仲通りで「レインガーデン」の実証実験スタート

期間：5月1日～10月31日



有楽町駅近くの蚕糸会館前仲通りに
レインガーデンが誕生

○丸の内仲通りで、大丸有地区におけるレインガーデン導入の可能性について検討する実証実験がスタートしました。歩道植栽の一部をレインガーデン化し、雨水の貯留・浸透効果、微気象緩和効果やアンケートによる修景効果の確認などを検証します。主催は三菱地所(株)で期間中の調査を(一社)グリーンインフラ総研が担当します。こちらは千代田区との協議に基づき、「グリーンインフラ活用型都市構築支援事業」を活用した取り組みです。

○当該植栽地内には、日本ではまだ珍しいオーナメンタルグラスが採用されています。季節による色の変化、風のそよぎを楽しむことができるほか、病虫害にも強く、省メンテナンスの植栽も特徴です。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「三菱地所(株) (2022年6月1日プレスリリース)」
(https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec220601_raingarden.pdf)

■ グリーンインフラアドバイザー制度のご紹介

- 本プラットフォームにおいて、会員の皆様のグリーンインフラに関する疑問の解決や取組の推進のため、グリーンインフラに関する知見を有するアドバイザーを派遣する制度を設けております。是非ご活用ください。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「グリーンインフラアドバイザー制度」
(<https://gi-platform.com/project/#adviser>)

■ 会員情報

会員数：1442人・団体（2022年5月31日時点）

● 新たな三号会員（民間企業、学術団体等）

- ・株式会社日健総本社
- ・株式会社モス山形

TOPICS

団地における「懐かしいけど、新しい」遊び場づくりがスタート！
～移動式遊び場イベントを活用した実証実験を開催～



- ▶ 独立行政法人都市再生機構は、子どもの健やかな成長とミクストコミュニティの実現を目指し、どこか懐かしくも新しい、誰もが使える魅力的な遊び場づくりを始めます。
- ▶ 身体の発達に重要とされる「基本的な動き」に着目するとともに、遊具のみならず、団地のもつ豊かな地形や植栽を活用することで、自由な遊びのなかで多様な動きが経験できる遊び場づくりを目指します。
- ▶ 5月に取り組みの一環で実証実験として実施した移動式遊び場イベントには、団地内外の330名が参加。期待の声をたくさんいただくとともに、団地の広場に子どもと大人の遊ぶ声が響き渡る素敵な時間となりました。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「①イベント周知の記者発表資料」「②イベント開催の結果」
① (https://www.ur-net.go.jp/east/press/hndcds0000005uy4-att/220516_takasudaini.pdf)
② (https://www.ur-net.go.jp/news/20220613_touchin_takasu.html)

人物紹介

※グリーンインフラに携わる方々を毎月紹介します



いまい みのる
今井 稔 [出身：愛知県]

(一社)建設コンサルタンツ協会
インフラストラクチャー研究所
研究部長

この度、グリーンインフラ産業展におけるGIPF実行委員長を務めさせていただくことになりました。グリーンインフラの社会実装の進展、多様なソリューションや技術の開発を促すため、みなさまご協力・ご支援よろしくお願ひします。

プラットフォーム専用サイトへ
<https://gi-platform.com/>

新規登録
はこちらから

随時会員募集！
登録無料！
団体でも
個人でも登録可！

今すぐ、
左記サイトから
登録を！！